

氏名	高村夏輝	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	哲学・倫理学				
学位	博士（学術）				
学歴	東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了				
経歴	松蔭大学経営文化学部講師を経て現職				
所属学会（役職）	日本科学哲学会、科学基礎論学会、応用哲学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	ラッセル的一元論による現象的意識の解明		研究代表者	2021～2025年度	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	倫理学	○	30	道徳的に生きるべき理由などのメタ倫理学と、功利主義、義務論、徳倫理という規範倫理学の主要な話題について紹介・批判的検討を行った。また現実的な話題として、動物倫理を取り上げた。2年次以降に開講されている「生命倫理の諸問題」との接続を意識して話題・論点を選択した。		
2	生命倫理の諸問題	○	32	インフォームド・コンセント、出生前診断、脳死・臓器移植、安楽死などの生命・医療倫理の話題について、歴史的経緯を重視した講義を行った。		
3	哲学	○	15	心身問題をテーマとして、心身二元論、心脳同一説、機能主義などの立場を紹介した。また汎用人工知能など、現在話題になっている技術的可能性も検討することで、理論的問題を社会の現実的問題と接合した。		
4	ヒューマンケア論		2	倫理学における「ケア」の概念の重要性を示すために、功利主義と義務論における一般的な原理・原則・規則の使用とその限界を強調し、「ケア」概念が捉える個人的関係が倫理的決定に果たす役割を論じた。		

5	人間の探求	○	8	2025年度から科目責任者となり、複数教員によるこの授業全体の運営とSAの管理を担当した。また全8回の内、2回は授業テーマの提題者となった。テーマは「自分の心について知ることができるか」という話題と、「死が怖いとはいかなることか」を取り上げた。学生を4人ずつのグループに分け、ホワイトボードでテーマについて考えてもらい、そのうちのいくつかの意見を踏まえて講義を進めた。その他の回では、本学の教養科目を担当している教員や、非常勤講師に講義を担当してもらい、授業の進行管理と質疑応答を担当した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	教養ゼミナール	○	8	トマス・ネーゲルの「死」と「人生の無意味さ」という二つの論文を購読し、「死が悪いことであるとはどういうことか」、「人生が無意味であるとはどういうことか」について、学生を交えてディスカッションする授業を実施した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ヒューマンケア体験実習		8	2つの学生グループを担当し、学外の2施設での実習を行った。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2025.4～2026.3	主指導	2名	副指導 名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	2025年度高校生向け開放授業	埼玉県立大学	後期科目「哲学」に1名の高校生受講生を受け入れた	2025.10～2026.3	
2	2025年度後期リカレント開放授業	埼玉県立大学	後期科目「哲学」に2名の受講生を受けれた	2025.10～2026.3	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期		
1	令和6年度司法試験予備試験考査委員	令和8年度司法試験予備試験考査委員	2024.11～2025.10		
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容	年月		
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容	期間	
1	産業支援	博論社	博士論文の出版事業に関してアドバイスをを行った	2025.4～2026.3	
5. 学内運営					
	項目	内容	期間		
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会 委員	2025.4～2026.3		
2	学科等における委員会等	教養科目担当者会会長	2025.4～2026.3		
3	大学広報活動	オープンキャンパスの企画・運営	2025.8		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名	主催	受賞年月		
1	みらい育成アワード2025準グランプリ（教養科目担当者会として）	三菱みらい育成財団	2025.9		

7. 特許の取得		
	特許名	特許番号 登録年月
1	該当なし	
8. 特記事項		
1	該当なし	